

# 学校における業務改善アクションプラン

目的

学校における働き方改革を通じた教育の質の維持・向上

目標

正規の勤務時間を超える勤務は月45時間以内

教職員の80%以上が「業務改善が進んでいる」と実感

社会全体への周知・理解  
PDCAサイクルの確立  
取組へのフォローアップ  
好事例の広報

Action!

## 学校のAction

### 重点取組① 業務改善に対する意識改革

- 適正な勤務時間の管理
- リフレッシュウィーク・定時退校日・退勤目標時刻の設定
- 1 Action, 1 Tryの設定

### 重点取組② 事務の負担軽減と専門スタッフ等の活用

- 事務の負担軽減
- 「チームとしての学校」の体制づくり
- かごしま学校応援団等の活用

### 重点取組③ 授業準備の効率化と時間確保

- 授業準備等の時間確保
- 教材の共有化
- かごしま学力向上支援Webシステム等の活用

### 重点取組④ 部活動に係る勤務状況の改善

- 部活動休養日等の設定
- 活動方針と活動計画の策定
- 指導・運営体制の構築

## 教育委員会のAction

- 出退勤時刻システム等の導入促進
- 教職員の業務改善に係る研修の実施

- 統合型校務支援システムの導入促進
- 各種調査、報告物等の15%削減

- 専科指導教員の配置等の実施
- 会議等の年間総時間数の20%削減

- 大会等の運営の見直し等の要請
- 外部指導者の協力体制づくり

## 業務改善の3つの方向性

業務の簡素化

業務の効率化

業務改善の意識化

学校の現状

約45%の教諭は、学校に在籍している時間が1週間当たり50時間を超えている。

正規の勤務時間のうち、授業や授業準備以外の業務に従事する時間が半分以上である。

小学校、特別支援学校教諭は正規の勤務時間以外に授業準備にかかる時間の割合が高い傾向にある。

中学校、高等学校教諭は正規の勤務時間以外に部活動にかかる時間の割合が高い傾向にある。